

令和3年6月15日
国土交通省

【概要書】

令和2年度 観光の状況
令和3年度 観光施策

の報告書が提出されました。

連絡先は省略。

○観光白書は観光立国推進基本法第8条に基づき毎年国会に提出。以下の四部で構成。

第I部 観光の動向 第1章 世界の観光の動向 第2章 日本の観光の動向

第II部 新型コロナウイルス感染症を踏まえた観光の新たな展開 第1章 新型コロナウイルス感染症が観光業にもたらした影響 第2章 観光業の体質強化・観光地の再生に向けた取組

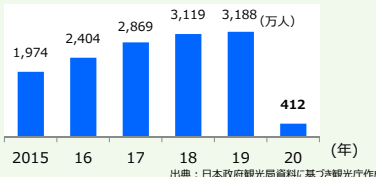
第III部 令和2年度に講じた施策／第IV部 令和3年度に講じようとする施策

第1章 観光分野における新型コロナウイルス感染症対策 第2章 新型コロナウイルス感染症終息後を見据えた観光施策（宿泊施設・観光地等の再生、魅力的な滞在コンテンツ造成、受入環境整備、インバウンドの段階的復活に向けた取組）

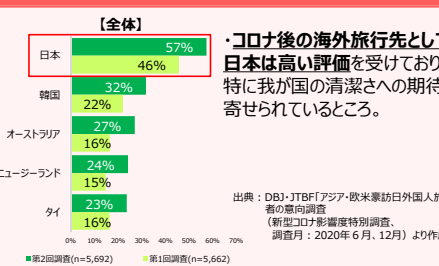
観光の動向（I部）

2020年の訪日外国人旅行者数は412万人(前年比87.1%減)と大きく減少。

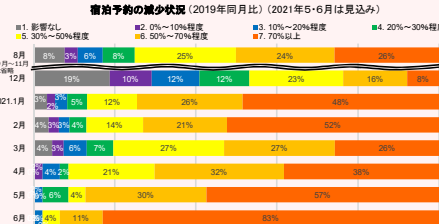
訪日外国人旅行者数



新型コロナウイルス感染症による影響と対策（II部）

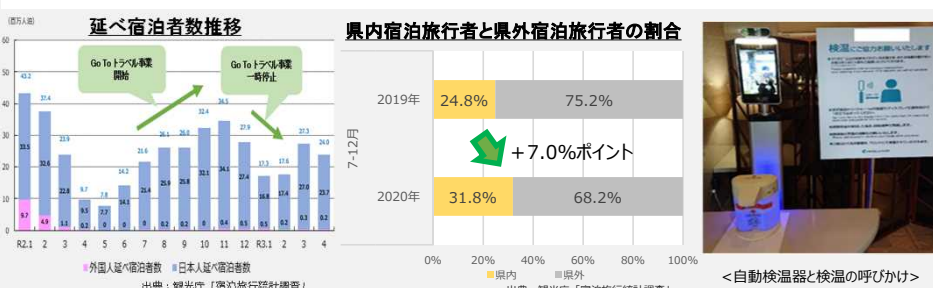


約900万人の雇用を抱える観光関連事業者の事業継続や雇用維持のため、政府を挙げて支援。
宿泊業及び旅行業への影響



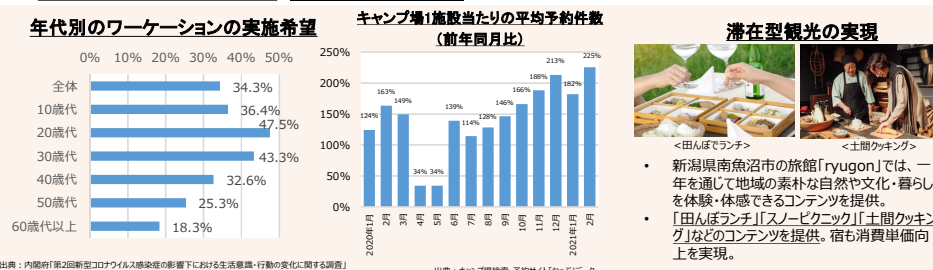
新型コロナウイルス感染症による影響と対策（II部）

- まずは、政府一丸となって、事業継続・雇用維持のため金融支援や雇用調整助成金等の支援策を強化。
- 感染拡大防止策を徹底した上で、Go To トラベル事業等の需要喚起策の推進によって、昨年11月にかけて国内旅行需要が回復するも、再度の感染拡大と緊急事態宣言等により再び減少。
- 令和3年4月より、地域観光事業支援によって、各都道府県が実施する旅行割引等を支援するとともに、宿泊事業者による感染拡大防止策の強化等に取り組む際の費用を昨年5月にさかのぼって支援。
- 国内旅行においては、近隣地域内での観光（いわゆるマイクロツーリズム）の割合が増加。
- 旅行者向け「新しい旅のエチケット」の作成・周知や、検温機等の感染拡大防止策の導入を支援。



観光のトレンドの変化（II部）

- コロナの状況下でワーケーションの前提となるテレワークが普及。特に20代、30代のワーケーション実施希望率が高い。子連れワーケーションに対応すべく、行政と連携して保育園の枠の確保等の取組も進んでいる。
- コロナ前からのコト消費の伸びに加えて、3密回避を求められる状況下、自然を楽しむキャンプ等のアウトドアへの需要が増加。コンテンツ等組み合わせ、高い消費単価を実現しているキャンプ場もある。
- 有名観光地への物見遊山ではなく、文化や暮らしを体感し1つの地域をじっくり楽しむ滞在型観光も、3密を避けられる旅行スタイル。例えば、新潟県南魚沼市の旅館では、地域の暮らしの中の素朴な資源をコンテンツとして活用。
- 修学旅行の行先が近場に変更。地域について学ぶ機会となった。



ワーケーションの事例【長崎県五島市】



- 地方公共団体と連携し、保育園の枠確保、小学校への体験入学を実現。また、ふるさと納税によりワーケーション費用の一部を支払うことが可能。
- 子ども見守りサービスや地域・ワーケーション客同士の交流機会などにより、満足度を向上。
- 琵琶湖畔にあるオートキャンプ場では、コロナ状況下でのニーズの高まりを受け、湖畔で焚き火がゆったり楽しめる設備の導入や、マルチメディア等のコンテンツを開発し、高単価を実現。
- 通常オフシーズンとなる冬に、3密対策にも対応したドライブインシアターを初開催。
- 大分県日出町では、「人間魚雷回天の訓練基地」で初めて修学旅行を受け入れ。
- 広島県尾道市の小学校では、地元での漁師体験を企画。定置網魚等を体験し、海洋プラスチック問題等も学習。

被災地における復興状況（東北、九州等）（I部）

- 東日本大震災からの復興支援
- 令和2年7月豪雨による被災地への支援

観光業の体質強化・観光地の再生に向けた取組（II部）

- 観光業の体質強化のため、施設の魅力向上、収益性の改善、生産性の向上が必要。
- 個々の宿泊施設における上質な滞在環境作りや経営改善を支援するとともに、観光地の廃屋撤去による景観改善や地域の飲食業と連携した泊食分離の促進等により、長期滞在のための環境整備に取り組む。
- DX導入により、サービス・生産性の向上を図る。さらに、AR・VR等を活用し、通常では体験できない美しい自然や立入禁止エリアの体験など、新たな観光資源を創出。
- 観光トレンドの変化に対応した新たな観光コンテンツの創出を支援。

宿泊施設の改修等

- 宿の滞在環境等の上質化に資する改修（ゆつたりとした空間や客室への露・風呂設置など）を支援し、消費単価を向上。
- また、経営改善や新たなビジネスモデル構築等のため、多様な分野のアドバイザーを派遣し、個々の状況に応じた取組を支援。



顧客情報等をシステムで集約一元管理

- 陣屋（神奈川県）では、顧客情報、予約情報等をシステムで集約一元管理することで、作業の省力化、最適な人員配置、無駄のない食材調達等を実現。
- 大分県豊後高田市には、修行僧以外の立ち入り禁止されている「天念寺無明橋」が存在。VRを活用した、修行体験コンテンツで、橋からの眺めなどが体験可能。



観光のトレンドの変化に対応した新たな観光コンテンツの創出

- 東京都八丈町では、団体型の格安ツアーからの送客依存の打破を目指し、少人数で高品質なアクティビティ（ヨガ等）を開発。
- 南魚沼市では、密になりにくい早朝の時間帯を活かして、これまではボランティアで行われていた「雲海ツアー」に魚沼産コシヒカリのおにぎりを食べる体験を組み合わせ、ツアーを有料化。

